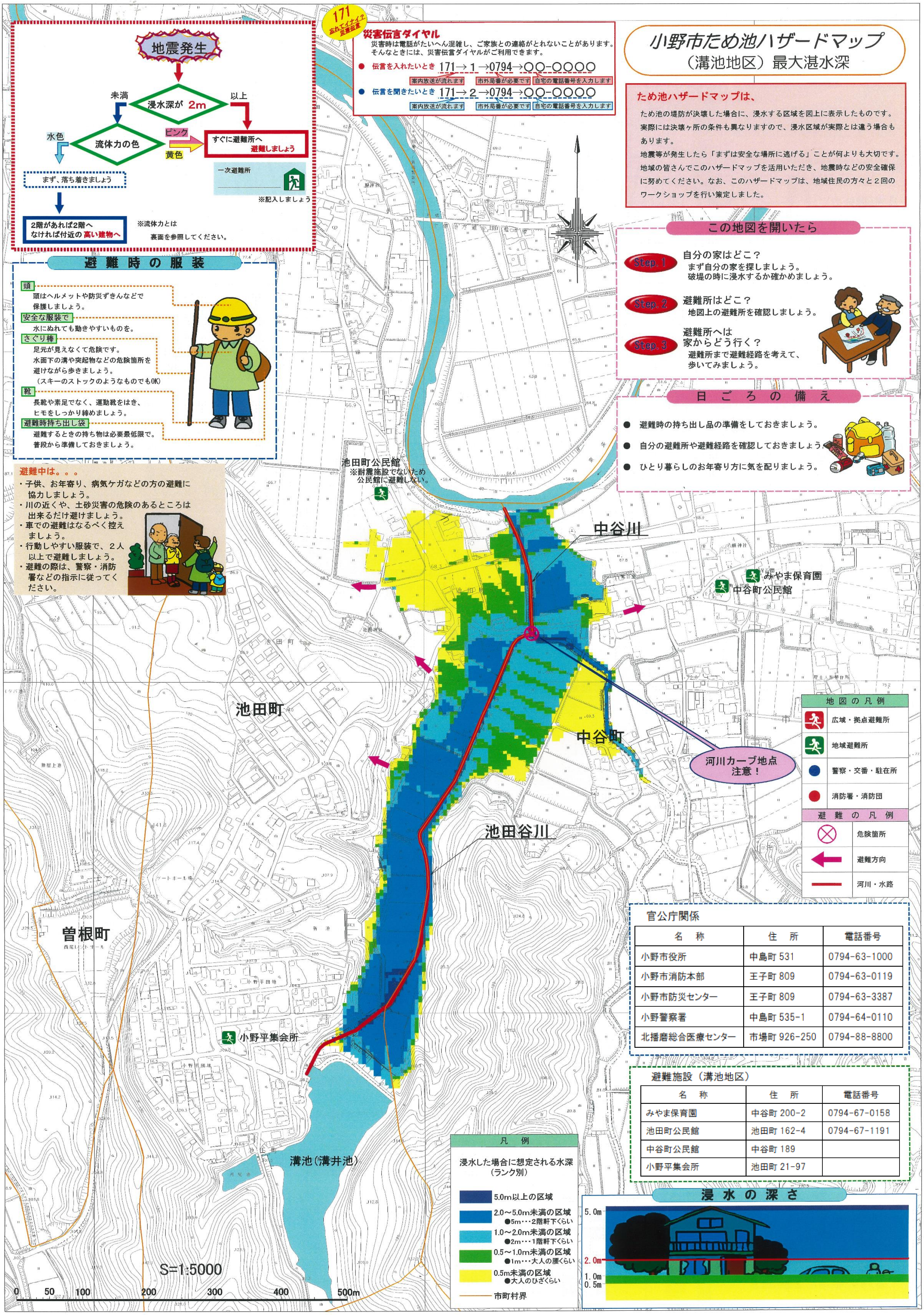
小野市ため池ハザードマップ
（溝池地区）最大湛水深

ため池ハザードマップは、

ため池の堤防が決壊した場合に、浸水する区域を図上に表示したものです。実際には決壊ヶ所の条件も異なりますので、浸水区域が実際とは違う場合もあります。
地震等が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことが何よりも大切です。地域の皆さんでこのハザードマップを活用いただき、地震時などの安全確保に努めてください。なお、このハザードマップは、地域住民の方々と２回のワークショップを行い策定しました。



地震発生

- 浸水深が 2m
  - 以上 → すぐに避難所へ 避難しましょう
  - 未満 → 流体力の色
    - ピンク・黄色 → すぐに避難所へ 避難しましょう
    - 水色 → まず、落ち着きましょう → 2階があれば2階へ なければ付近の 高い建物へ

一次避難所 ＿＿＿＿＿＿
※記入しましょう

※流体力とは
裏面を参照してください。

171 忘れてイナイ？ 災害伝言

災害伝言ダイヤル

災害時は電話がたいへん混雑し、ご家族との連絡がとれないことがあります。
そんなときには、災害伝言ダイヤルがご利用できます。

- 伝言を入れたいとき 171→ 1 →0794→〇〇-〇〇〇〇
  （案内放送が流れます／市外局番が必要です／自宅の電話番号を入力します）
- 伝言を聞きたいとき 171→ 2 →0794→〇〇-〇〇〇〇
  （案内放送が流れます／市外局番が必要です／自宅の電話番号を入力します）

避難時の服装

頭
頭はヘルメットや防災ずきんなどで保護しましょう。

安全な服装で
水にぬれても動きやすいものを。

さぐり棒
足元が見えなくて危険です。
水面下の溝や突起物などの危険箇所を避けながら歩きましょう。
（スキーのストックのようなものでもOK）

靴
長靴や素足でなく、運動靴をはき、ヒモをしっかり締めましょう。

避難時持ち出し袋
避難するときの持ち物は必要最低限で。
普段から準備しておきましょう。

避難中は。。。

- 子供、お年寄り、病気ケガなどの方の避難に協力しましょう。
- 川の近くや、土砂災害の危険のあるところは出来るだけ避けましょう。
- 車での避難はなるべく控えましょう。
- 行動しやすい服装で、２人以上で避難しましょう。
- 避難の際は、警察・消防署などの指示に従ってください。

この地図を開いたら

Step. 1 自分の家はどこ？
まず自分の家を探しましょう。
破堤の時に浸水するか確かめましょう。

Step. 2 避難所はどこ？
地図上の避難所を確認しましょう。

Step. 3 避難所へは家からどう行く？
避難所まで避難経路を考えて、歩いてみましょう。

日ごろの備え

- 避難時の持ち出し品の準備をしておきましょう。
- 自分の避難所や避難経路を確認しておきましょう。
- ひとり暮らしのお年寄り方に気を配りましょう。

地図の凡例

- 広域・拠点避難所
- 地域避難所
- 警察・交番・駐在所
- 消防署・消防団

避難の凡例

- 危険箇所
- 避難方向
- 河川・水路

官公庁関係

名　称	住　所	電話番号
小野市役所	中島町 531	0794-63-1000
小野市消防本部	王子町 809	0794-63-0119
小野市防災センター	王子町 809	0794-63-3387
小野警察署	中島町 535-1	0794-64-0110
北播磨総合医療センター	市場町 926-250	0794-88-8800

避難施設（溝池地区）

名　称	住　所	電話番号
みやま保育園	中谷町 200-2	0794-67-0158
池田町公民館	池田町 162-4	0794-67-1191
中谷町公民館	中谷町 189	
小野平集会所	池田町 21-97	

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0m以上の区域
- 2.0～5.0m未満の区域 ●5m・・・2階軒下くらい
- 1.0～2.0m未満の区域 ●2m・・・1階軒下くらい
- 0.5～1.0m未満の区域 ●1m・・・大人の腰くらい
- 0.5m未満の区域 ●大人のひざくらい
- 市町村界

浸水の深さ

5.0m
2.0m
1.0m
0.5m

小野市産業課作成（平成２５年１２月）